

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表日 令和8年 1月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・体が大きい子もいるので多少狭く感じる事もあるが今の所問題はない。 ・利用者が大きくなってきているので少し狭いと感じる。	・小学生と中高生を分けて支援を行ないたいと考えているが、建物の構造上分けることが出来ない。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・職員が少ない時は、他事業所からヘルプが入る時がある。	・男性職員が少ないため、今後検討が必要。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・ホワイトボードや仕切り表を貼って、目で判断できるメンバーは活用している。	・文字だけではなく、絵や写真を使って伝えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			掃除は活動終了後から翌営業時間までに必ず行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・個別の部屋は特にないが、相談室など使っている。 ・クールダウン・カームダウンする場所がない。	・建物関係上個別の部屋を作ることが出来ないが、相談室など静かに過ごしたい時には使用できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・日々の打ち合わせや、スタッフ会議で日々の振り返りと先を見通す意見交換ができている。 ・常勤・非常勤にとらわれず意見交換をすることが日常的に出来ている。意見を出しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。	・日々のコミュニケーション中でも目標や振り返りを行なっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・グループウェアなどのICTを活用し共有できている。何か問題があれば会議に提案されている。	・家族からの意見を職員間で共有している。必要に応じて業務改善している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・スタッフ会議で全員の意見を聞いている。問題解決についても話し合っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・第三者による評価を行なっていない。 ・モニタリング等で他事業所の相談員が来所されるなど、外部との連携を行なっており、風通しの良い環境だと思う。	・今後第三者評価も視野に入れて検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・定期的に入職年数に合わせて研修を行なっている。	・毎月のスタッフ会議内でも研修を行なっている。また、職員からどのような研修を受けたいかなども聞いて研修計画を立てている。	
支援プログラム	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・モニタリングを含めスタッフ会議で利用者の様子を共有して先を考える話し合いが出来ている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・活動記録などで、記録を行ない具体的な様子は話し合い等で考えられている。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・以前は管理者主導での立案が多かったが、今は全職員でアイデアを出し合いプログラムを組むようになりアイデアの幅が広がったと思う。	これからも、職員同士話し合いを行ないながらプログラムを組んでいく。また、利用児童からも何がしたいかを聞きながら、希望に沿ってプログラムを作成していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・個々で話すことはある。 ・送迎時の様子や保護者様からの話など報告し、共有している。 ・勤務の都合で当日中に打ち合わせをすることは難しい場合は、翌日以降に必ず振り返りを行ない、共有している。	・特記事項などあった場合にはメモ等に残し、翌日の打ち合わせで情報共有している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・できるだけ記録を取っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		・出来た事を褒めたり、できなくとも次につながるようしている。買物(駄菓子屋)等や公園など外に向けても出来ることを重ねられるように取り組んでいる。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・選んでもらえる支援はできている。出来なかつたら、次につなげることをしている。	・子どもに合わせて選択肢を変えている。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	・医療の話は保護者から聞くことが多い。 ・学校の先生との様子や目標が共有できている利用児童もいるが、全ケースではないと思う。	・医療については保護者からの報告が多い。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・送迎時に聞いた事は共有するよう報告できている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・保護者を通じて過去の様子等を聞くことはあるが、直接情報をもらうことはされていない。	・前年度、今年度と対象児童がいない。必要に応じて連携を取っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・提供している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	・現在連携はとれていない。	・必要に応じて連携を図りたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・プレイパークなど。 ・休日稼働のレクで地域の公園や公共の施設に遊びに行くことはあるが、他の子との関わりはあまりない。	・公園など地域交流の場に行き、たくさんの児童と関わりを持つ。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・管理者・児発管が積極的に参加している。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳の保護者欄の記載、デイから連絡帳や送迎時に共有し、支援の一助にしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・保護者向けの研修等は必要に応じて情報を提供している。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・児発管が行っている。	

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・連絡帳の保護者より要望などを受け入れたり、送迎時に聞いた事を共有し対応している。	・必要に応じて児発管が相談する時間を設けている。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・年に一度懇談会を開催している。 ・兄弟児の交流は懇談会の託児などやっているが、最近はなかなか機会がない(保護者間の交流はやっている。) ・年1回保護者懇談会を行なっており、その際兄弟児も含め事業所内で過ごせる場を設けている。が、兄弟も利用時も年齢が上がってきたこともあってか、参加は減っている。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・HP等に載せる際には、個人情報保護法に乗っ取り対応している。 ・レク行事等は法人の所有物以外での写真・動画撮影は行なっていない。 ・鍵がかかる場所に個人情報等をしまっている。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・招待することはないが、地域に出向いて外部との交流の機会は作っている。	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・連絡帳などで共有している。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			